



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社MTG 上場取引所 東  
コード番号 7806 URL <https://www.mtg.gr.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松下 剛  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 田島 安希彦 TEL 052-307-7890  
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	32,736	17.7	1,953	△19.2	2,135	△6.8	1,464	26.6
2023年9月期第2四半期	27,823	22.3	2,416	4.8	2,290	△8.4	1,156	△40.2

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 1,303百万円 (29.0%) 2023年9月期第2四半期 1,010百万円 (△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	37.14	36.97
2023年9月期第2四半期	29.35	29.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	54,097	43,606	79.2
2023年9月期	54,449	42,712	77.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 42,854百万円 2023年9月期 41,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	11.4	3,400	△5.5	3,400	△18.4	2,000	0.8	50.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー  
除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	40,099,868株	2023年9月期	40,097,168株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	665,698株	2023年9月期	678,553株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	39,426,948株	2023年9月期2Q	39,398,605株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響の緩和により、社会経済活動の正常化が進む一方、金融政策等を背景とした世界的な資源価格の高騰、急速な為替相場の変動や物価の上昇、また地政学的にも不安定な状況が続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、世界中の人々の人生をより美しく、より健康的に輝かせるためにHEALTH、BEAUTY、HYGIENE領域においてブランド及び商品の開発に取り組んでまいりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ダイレクトマーケティング事業

主な事業内容は、当社及び国内他社ECサイト、新聞を通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売・カタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売となります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は12,867百万円（前年同期比9.8%増）、経常利益は2,891百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

ReFaブランドではサロン市場で先行販売していたReFa CURL IRON PRO、ReFa STRAIGHT IRON PROのECサイトでの販売を開始いたしました。美容室サロンのお客様からの口コミ効果により予約販売は大変好調に推移し、楽天総合デイリーランキングにて、ReFa STRAIGHT IRON PROは第1位、ReFa CURL IRON PROは第2位を獲得いたしました。

引き続きヘアブラシカテゴリーも好調に推移しており、ホワイトデーキャンペーンとして数量限定で販売したReFa HEART SELECTION 01はわずか半日で完売いたしました。また、ReFa LOCK OILを中心としたヘアケアカテゴリーのリピート商品も販売数を順調に伸ばしております。

SIXPADブランドでは近年規模が拡大している休養（リカバリー）市場に向けた商品であるSIXPAD Recovery Wearが好調に推移いたしました。NEW PEACEブランドの新商品NEWPEACE Breathが予約販売から予測を上回るご注文を頂き、楽天枕部門ウィークリー第1位を獲得いたしました。

直営サイトでは、2023年10月より取り組みを開始しているライブコマースが安定した視聴数を獲得しており、MTGオンラインショップの会員様とのコミュニケーションの場としても活用することができております。

また、MTG LIFEPLAN（月々定額・下取りサービス・きちんと保証）も引き続きご好評を頂いており、堅調に会員数を伸ばしております。

#### ②プロフェッショナル事業

主な事業内容は、B happy サロン向けECプラットフォームでの取次販売、美容室運営事業者、エステティックサロン運営事業者への卸売販売、宿泊施設への設備販売、ショッピングセンター等での一般消費者への直接販売となります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は9,654百万円（前年同期比21.7%増）、経常利益は1,732百万円（前年同期比54.8%増）となりました。

020サロン向けプラットフォームサービスB happy（プラットフォーム上に設けた自店舗専用のオンラインショップより、店舗顧客に当社商品をいつでもお買い求め頂けるサービス）の加盟店舗数は、17,000店舗と順調に増加しております。また、加盟店舗数の拡大に伴い、システムの改善とブランドの世界観を感じられるデザインの向上を目指し、サイトを全面リニューアルいたしました。

サロン様向けに2024年3月に行ったオンライン新商品発表会では、全国14,300店舗を保有するサロン様に視聴申込みを頂きました。サロン施術の価値を引き上げる業務用のReFa S BUBBLEをはじめとしたファインバブルシャワーシリーズ、光美容器シリーズが大変ご好評を頂き、付加価値向上や他店との差別化により採用が進んでおります。

ヘアケアアイテムは販売数、売上高ともに前年比2桁成長を継続しており、中でもヘアアイロンは国内メーカーシェア第1位を獲得することができました。数多くのサロン様に業務用として導入頂いていることにより、全市場に対する波及効果をもたらしております。リピートに繋がるヘアケアコスメのロックオイルシリーズも販売が好調に推移しております。サロン様からは数多くの紹介が入り、直近3ヶ月の新規契約サロン数も1,660店舗と大幅に増加しております。

「ReFaルーム」も昨今の観光客増加に伴い堅調に推移し、単品設置を含む設備設置ホテル数は累計2,000施設、総導入室数33,000室となり、3月の月間体感者数は68万人を超えております。ホテル稼働率の伸長及び訪日富裕層をターゲットとした新規開業が増加傾向にあることも起因し、マリオット・インターナショナル様、インターコンチネンタルホテルズグループ様等のハイクラスホテルからの新規導入のお問い合わせも増加傾向にありま

す。ReFaブランドの各種リピート商品の導入も進んでおり、1月より「ReFaルーム」の条件として、ReFa BEAUTECH SHAMPOO、ReFa BEAUTECH TREATMENTの設備設置を定義した結果、リピート売上の拡大に繋がっております。

#### ③リテールストア事業

主な事業内容は、百貨店・ショッピングセンター・免税店・量販店・専門店を中心とした運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売となります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,511百万円（前年同期比28.8%増）、経常利益は819百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の5類移行後、社会経済活動の活性化に伴い個人消費も回復基調が見られ、売上は堅調に推移いたしました。

百貨店・ショッピングセンター・免税店ではReFa BEAUTECHシリーズのヘアケア商品が好調であったほか、シャワーシリーズの新商品ReFa FINE BUBBLE Uの発売もあり安定的かつ堅調に売上が推移いたしました。

新たな取り組みとして、ReFaブランド初となるアウトレット店舗を3店舗オープンし、継続的な売上の底上げと百貨店・ショッピングセンター・免税店とは異なる客層の開拓に着手しております。

量販店では、ReFaブランドのシャワーシリーズReFa FINE BUBBLE PUREが引き続き好調に推移したほか、同シリーズの新商品ReFa FINE BUBBLE Uの発売に伴い店頭什器を刷新し、売り場の拡大及びシャワーシリーズの更なるシェア拡大に取り組んでおります。また、GMS（総合スーパー）や雑貨専門店ではヘアブラシカテゴリーが好調に推移しており、ReFa HEART BRUSHを中心に販売数が大きく伸びました。2024年3月7日には雑貨専門店約200店舗でReFa HEART BRUSHの新カラーを発売し、数量限定のため即日完売の店舗も出る等大変反響を頂いております。

#### ④グローバル事業

主な事業内容は、海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売となります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は711百万円（前年同期比4.4%減）、経常損失は325百万円（前年同期は398百万円の経常損失）となりました。

中国においては、Styleブランドにて会員制ホールセールクラブの常設展開が引き続き好調に推移いたしました。また、越境EC事業においてライブコマースでの販売を実施し、特にヘアケア商品の販売が好調に推移いたしました。ReFa HEART BRUSHにおいて、韓国市場に続きアメリカ市場、中国市場での展開を開始いたしました。一方、韓国におけるHEALTH CARE事業の苦戦が主な原因で経常損失を計上しております。

#### ⑤スマートリング事業

主な事業内容は、ショッピングや飲食時の決済を可能とする、非接触式のスマートリング（近距離無線通信を搭載した指輪）の製造販売を行うIoT事業となります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は111百万円（前年同期比35.7%増）、経常損失は508百万円（前年同期は628百万円の経常損失）となりました。

2025年に開催される大阪万博での採用の一環として、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会とともにウェルカムキャンペーンを実施し4万人の方への当選発表がなされました。また年初より月額プランのキャンペーンも実施する等、普及・認知活動に注力してまいりましたが、ブラックフライデー・年末需要がある第1四半期連結会計期間に比し、減収となっております。また、大阪万博へのリング提供、認知拡大のためのプロモーション費用及び決済システム等の固定費を賄うだけの販売量に達しておらず経常損失を計上しております。

#### ⑥その他事業

主な事業内容は、椿を原料とした製品の製造及び販売事業、EV車両を中心としたモビリティ販売事業となります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は879百万円（前年同期比19.7%増）、経常損失は163百万円（前年同期は51百万円の経常損失）となりました。

これらのセグメントで取り扱っている主なブランド及び商品は、次のとおりであります。

(ReFaブランド)

<HAIR CARE>

累計出荷台数50万台を超える人気のドライヤーにおいて、2024年1月に百貨店・オンライン市場に販売を拡大したReFa BEAUTECH DRYER SMARTが非常にご好評を頂いております。「プロフェッショナルの技をテクノロジーで再現する」というコンセプトをもとに、まずは美容室市場での口コミ拡散を徹底的に行い、次のフェーズで一般市場展開に繋げるというReFaならではのマーケット連携を戦略的に体現しております。プロモーションにおいては、ユーザー層の拡大を狙い、30~40代をターゲットにしたWEB広告や雑誌タイアップ等を積極的に行ったことで、新規ユーザーの認知獲得に繋がっております。2月21日からは海外でも使えるマルチボルト仕様仕様のReFa BEAUTECH DRYER SMART Wを販売開始いたしました。海外でも変圧器なしで使用可能なうえに、コンパクトに折りたたため持ち運びも簡単なので、旅行先や出張先でも普段と変わらない美しい髪に仕上げることができます。同様にヘアケアカテゴリーで人気のアイロンにおいても2月から広告出稿を強化しております。今後もヘアケアカテゴリー全体で認知を拡大していくために、積極的な広告出稿を展開していく見込みでございます。

シリーズ累計出荷数100万本を突破した好評のブラシシリーズからは、人気のヘアブラシ3点をセットにしたReFa HEART SELECTION 01を2024年2月22日からオンラインショップにて数量限定で販売開始いたしました。ギフトで人気のReFa HEART BRUSH(ローズゴールド)、ReFa HEART BRUSH for SCALP(マツロゼ)、ReFa AILE BRUSH(ローズゴールド)のピンクカラー3点をセットにしてユーザーからのニーズにお応えしております。同じく2月22日には、日本の文化・伝統を紡ぎ続ける「プロフェッショナルの技」に、ReFaを融合させたプロダクトシリーズの第3弾として、国内製造の木製家具メーカー カリモク家具社、創業100年を超える鋳物メーカー 能作社にご協力頂いた、ReFa BRISTLE OAKをオンラインショップにて販売開始いたしました。

2024年3月7日にReFa HEART BRUSHの新カラー「ユニコーンパープル」を全国のPLAZA、LOFTにて数量限定で販売開始いたしました。プレゼントのお声も多いReFa HEART BRUSHに、お客様からの声やトレンドを取り入れた限定カラーとなります。これからも市場を牽引するブランドとしてヘアブラシの新しい価値を提供してまいります。

<FINE BUBBLE SHOWER>

毛穴よりも小さな泡「ファインバブル」の有用性に着目し、その技術を応用したビューティーシャワーシリーズから新商品ReFa FINE BUBBLE Uを2024年3月6日にオンラインショップ、全国の百貨店、ReFaショップ、家電量販店等の各市場にて販売を開始いたしました。同じく3月6日に、驚くほど軽いヘッドで手元にぴったりフィットし、水流を直感的に自在に操れるReFa FINE BUBBLE FITの販売を開始する等、様々なニーズに対応するためラインナップを拡充しております。

様々なお客様のニーズにもアプローチを強化するため、俳優の榮倉奈々氏、山田裕貴氏を起用した新TVCMを2024年2月21日より放映開始いたしました。数多くのTV番組での取り上げ実績や美容雑誌「美的」の表紙への出演、主要エリアでの屋外広告展開等も重なり、初動から大きな話題となりました。

また、犬の肌質改善試験が国際論文にも採択された「犬アトピー性皮膚炎に対するファインバブル洗浄の有用性試験」が日経新聞社主催の日経ビジネスイノベーションフォーラムで発表される等、ファインバブルテクノロジーのさらなる可能性を追求する活動も広がっております。

<SHAMPOO/TREATMENT/その他リピート商品>

ReFaの炭酸美容のラインナップに新アイテム3種が加わりました。炭酸泡で肌を引き締め、美しさを引き出すボディセラムReFa SPARKLING BODY SERUMを2024年2月16日から全国の美容室サロン、エステティックサロンで販売開始しております。サロン向け業務用商品としては、炭酸×成分の相乗効果で肌を引き締めるマッサージパウダーReFa HEAT SPARK POWDERと、炭酸×成分の相乗効果でハンド瘦身の効果を高める施術用ジェルクリームReFa HEAT SPARK GEL CREAMの2商品を同じく2月16日よりリリースを開始し、ReFaの美容アプローチをさらに強化しております。

## &lt;BEAUTY TECH&gt;

最高峰レベルのハイパワーを実現した光美容器ReFa EPI Wを2024年3月21日にMTGオンラインショップ、家電量販店、通販市場で販売開始いたしました。最大出力30Jのハイパワーで全身のムダ毛をケアできるだけでなく、肌へのやさしさにこだわるため、光のエネルギーを当てるごくわずかな時間を調整するReFa独自の光テクノロジー「Gentle IPL」を搭載することで、ハイパワー照射ながらもマイルドな刺激であり、納得の仕上がりで肌へのやさしさの両立を実現いたしました。あわせて、肌ダメージや痛みが気になる方へ向けた光美容器ReFa EPIと、光美容器使用前のケアにも使える全身用電気シェーバーReFa MULTI SHAVERも同じく3月21日に販売開始いたしました。光の力がツルスベ肌に導き、使うたびに美しくなる喜びを実感できるラインナップでございます。

また、ReFa EPIやReFa EPI Wとともに、5月発売予定のReFa EPI COOLの3商品の発売に際して、約120名のメディア関係者を招いたメディア向け新商品発表会を実施いたしました。使用感の良さや直感的に使える操作性の良さで、主要メディアからも高い評価を頂いております。3月21日からはアンバサダーを起用したTVCMも放映を開始し、今後もTVCM・WEB広告ともにメディア出稿を強化していくことで、ReFaの光美容器の認知形成拡大を期待しております。

## (SIXPADブランド)

## &lt;SPORTS&gt;

はきながらEMSでヒップトレーニングができるSIXPAD Hip Fitを2024年2月にエステ市場と大丸心齋橋店で先行発売、伊勢丹新宿店で2週間の期間限定のポップアップを実施いたしました。エステ市場では商品を体感されたお客様からの購入が好調で、売上計画を大幅に上回りました。伊勢丹新宿店でのポップアップにおいても、30～40代の女性のお客様を中心に販売が伸長し、好調な滑り出しとなりました。

## &lt;HEALTH CARE&gt;

2024年2月に山形で開催された「透析運動療法研究会」の会場に、足裏から足をトレーニングするFoot Fitのブースを設置し、Foot Fitを活用した研究結果を紹介いたしました。

ヘルスケア商品の体感イベントとして、楽天シニアFestival、ジャパングolfフェア、新聞社主催等の複数のイベントにブース出展し、SIXPAD Foot Fit 3をはじめとするヘルスケア商品の認知拡大及び体験の場を創出いたしました。今後もFoot Fitを活用した取り組みの発信やヘルスケア商品の体験の場を増やすことで、認知拡大、価値向上に努めてまいります。

## &lt;Recovery&gt;

パワフルな振動機能を搭載しピンポイントで身体をケアできるPower Gunシリーズから、鍛え抜かれた筋肉に刺激を与えるPower Gun Plusと本体に取り付けて広範囲にアプローチできるベルト型アタッチメントSIXPAD Power Gun Beltを2024年1月に発売いたしました。Power Gunシリーズのラインナップを拡充することで、量販店等での市場シェア拡大を目指してまいります。

また名古屋ウィメンズマラソンにブース出展し、ランナーの皆様にPower Gunシリーズをはじめとしたリカバリー商品を体験頂きました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,736百万円（前年同期比17.7%増）となりました。また、営業利益は1,953百万円（前年同期比19.2%減）、経常利益は2,135百万円（前年同期比6.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,464百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては54,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円減少しました。これは主に建物及び構築物の増加313百万円があったものの、現金及び預金の減少1,402百万円によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては10,491百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,246百万円減少しました。これは主に未払法人税等の減少601百万円及び製品保証引当金の減少700百万円によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては43,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ893百万円増加しました。これは主に配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,464百万円による利益剰余金の増加によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）につきましては、14,735百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,402百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、1,108百万円（前年同期比53.6%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2,165百万円、製品保証引当金の減少額700百万円及び法人税等の支払額1,181百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、2,104百万円（前年同期比63.9%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,651百万円、無形固定資産の取得による支出339百万円及び投資有価証券の取得による支出109百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、283百万円（前年同期比219.3%増）となりました。これは主に非支配株主からの払込みによる収入130百万円及び配当金の支払額392百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月9日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,137	14,735
受取手形及び売掛金	6,017	5,897
商品及び製品	10,611	10,336
原材料及び貯蔵品	744	830
前払費用	995	1,040
その他	1,986	2,361
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	36,491	35,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	309	622
土地	8,883	8,883
その他(純額)	1,142	1,839
有形固定資産合計	10,335	11,345
無形固定資産		
	630	898
投資その他の資産		
投資有価証券	3,645	3,716
繰延税金資産	2,565	2,297
その他	932	734
貸倒引当金	△151	△95
投資その他の資産合計	6,991	6,652
固定資産合計	17,958	18,897
資産合計	54,449	54,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,831	2,196
未払金	2,012	2,140
未払法人税等	1,485	883
製品保証引当金	1,618	918
その他の引当金	1,002	829
その他	3,380	2,975
流動負債合計	11,330	9,943
固定負債		
その他	406	547
固定負債合計	406	547
負債合計	11,737	10,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,778	16,780
資本剰余金	16,160	16,056
利益剰余金	10,706	11,718
自己株式	△889	△872
株主資本合計	42,756	43,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11	△4
為替換算調整勘定	△812	△823
その他の包括利益累計額合計	△824	△827
新株予約権	0	0
非支配株主持分	779	751
純資産合計	42,712	43,606
負債純資産合計	54,449	54,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	27,823	32,736
売上原価	10,961	12,996
売上総利益	16,862	19,740
販売費及び一般管理費	14,445	17,786
営業利益	2,416	1,953
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	16
為替差益	—	129
貸倒引当金戻入額	17	16
その他	13	67
営業外収益合計	38	231
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	141	—
賃貸借契約解約損	—	15
固定資産除却損	1	6
和解金	0	17
その他	20	8
営業外費用合計	164	49
経常利益	2,290	2,135
特別利益		
固定資産売却益	7	3
投資有価証券売却益	—	0
新株予約権戻入益	3	—
受取保険金	—	38
特別利益合計	11	42
特別損失		
投資有価証券評価損	87	—
投資有価証券売却損	—	1
リコール関連費用	2	11
貸倒引当金繰入額	20	—
特別損失合計	109	12
税金等調整前四半期純利益	2,192	2,165
法人税等	1,182	858
四半期純利益	1,009	1,307
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△146	△157
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,156	1,464

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,009	1,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	6
為替換算調整勘定	69	△10
その他の包括利益合計	0	△3
四半期包括利益	1,010	1,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,156	1,460
非支配株主に係る四半期包括利益	△146	△157

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,192	2,165
減価償却費	322	645
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	68	△700
為替差損益 (△は益)	6	△2
受取保険金	—	△38
和解金	0	17
売上債権の増減額 (△は増加)	171	136
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△361	188
仕入債務の増減額 (△は減少)	753	122
前払費用の増減額 (△は増加)	△49	69
未払金の増減額 (△は減少)	7	124
その他	261	△492
小計	3,373	2,234
利息及び配当金の受取額	4	21
利息の支払額	△0	△0
保険金の受取額	—	38
和解金の支払額	—	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△988	△1,181
その他	—	14
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,388</b>	<b>1,108</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△427	△1,651
無形固定資産の取得による支出	△132	△339
投資有価証券の取得による支出	△714	△109
関係会社株式の取得による支出	—	△107
その他	△9	103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,284</b>	<b>△2,104</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9	△2
株式の発行による収入	3	2
非支配株主からの払込みによる収入	315	130
配当金の支払額	△392	△392
その他	△5	△20
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△88</b>	<b>△283</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△123
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>1,035</b>	<b>△1,402</b>
現金及び現金同等物の期首残高	16,529	16,137
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>17,564</b>	<b>14,735</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	ダイレク トマーケ ティング 事業	プロフ ェッシ ョナル 事業	リテー ルスト ア事業	グローバ ル事業	スマート リング事 業	その他事 業 (注) 1	計		
売上高									
外部顧客への売上高	11,723	7,933	6,606	744	82	734	27,823	—	27,823
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,723	7,933	6,606	744	82	734	27,823	—	27,823
セグメント利益 又は損失(△)	3,512	1,118	782	△398	△628	△51	4,334	△2,043	2,290

(注) 1. 「その他事業」は、EV車両を中心とした自動車販売、SIXPAD STATION事業及びSIXPAD HOME GYM事業となります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,043百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,043百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	ダイレク トマーケ ティング 事業	プロフ ェッシ ョナル 事業	リテー ルスト ア事業	グローバ ル事業	スマート リング事 業	その他事 業 (注) 1	計		
売上高									
外部顧客への売上高	12,867	9,654	8,511	711	111	879	32,736	—	32,736
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,867	9,654	8,511	711	111	879	32,736	—	32,736
セグメント利益 又は損失(△)	2,891	1,732	819	△325	△508	△163	4,444	△2,309	2,135

- (注) 1. 「その他事業」は、椿を原料とした製品の製造及び販売事業、EV車両を中心としたモビリティ販売事業となります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,309百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,309百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。